



自然素材で暮らしをデザイン

木だて家

手づくりでお届けする住まいの情報誌

しあわせ

2023・9 vol.140

〒915-0242 福井県越前市粟田部町 32-15-1



～心耕す～

暑中お見舞い
申し上げます。



会長
内田隆陽



～夏が過ぎ風あざみ 誰のあこがれに さまよう 青空に残された 私の心は 夏模様♪～
といった少年時代(井上陽水)の曲を口ずさみたい私ですが、この猛暑・酷暑には吹き出る汗を拭うだけです。大好きな製材作業も昼からはクールダウンで熱中症対策し、^{とし}齡には勝てません🦋

私の少年時代の夏休み中には必ず2～3日に一度は、雷、夕立があり、夜涼んだものでした。しかし、エアコン無しでは寝られない熱帯夜が続き、蝉の声も少なく、嫌な蚊もいなくなり、空にカラスも飛んでいません。日本中すでに亜熱帯地域に変わりつつあります。夏が終わればすぐ冬が来るみたいに。

『夏を^{むね}旨とすべし』とは昔の木の家^{きんげん}住まいの金言でしたが、それはエアコンや照明のない時代の話で、地球温暖化が進む今は、+αの次元で住まいづくりを提案、提供しなければなりません。

冷暖房器具は日本の蒸し暑い夏にはなくてはならない存在になっています。一方で適切に使用しないと室内が冷え過ぎて冷房病になり身体の調子を崩します。熱帯夜で就寝時に冷房の温度を下げすぎると夏風邪をひいたりお腹の調子を崩します。健康を守るための住まいづくりが、ますます求められる時代になってきています。

以前より弊社では、お施主様の敷地調査を綿密に行い、プランニング設計に自然エネルギーを取り入らせていただいております。今後も省エネ、断熱、耐震、太陽光等を取り入れたパッシブデザイン(自然の恵みを室内に取り入る)設計が大切だと考えます。

近年、日本の夏は身体に厳しい暑さになり、熱中症の危険性は増す一方です。その中でも無垢材の心地よさ、庭づくり……。のびやかな木の家での暮らしを謳歌しつつ、夏の猛暑を快適に、涼しく暮らせる工夫に満ちた木の家を提案します。

～福井市 福のいえ～

久保 辰雄

福のいえの外壁工事、ガルバリウム鋼板張りりと、そとん壁の仕上げ塗りが終わりました。南面と東面は桧板張りで、3種類の外壁材をデザインに合わせてバランス良く使い、落ち着いた仕上がりです。

床は桧ムク材フローリングで、玄関ホール、洗面脱衣室等の天井は杉無地羽目板張りを使用し、壁は越前和紙クロスとドイツ製漆喰塗料塗りで、自然素材をふんだんに使い調湿効果に最適です。

窓は全て樹脂サッシを採用し、断熱、防音、結露防止機能も高く、近年の猛暑温暖化に対応できる家づくりが進んでおります。そして、リビングの南面には広いウッドデッキと中庭があり、自然のそよ風と明るい日差しを取り入れた快適空間が楽しみです。



～リフォーム工事完了～

内田 裕之

7月号で御紹介させていただきました、鯖江市内のリフォーム工事が完成しました。外部に面した従来サッシを全て、防音性、気密性に優れたサッシに入れ替え、LDK 内も壁、床、天井全てに新しい断熱材を施しました。

この夏の記録的な酷暑の中、御施主様からは“外部の騒音も聞こえなくなり、LDK 内もエアコン1台で以前より快適に過ごせる様になりました”との御言葉を頂きました。どうか寒い冬場も、いつまでも快適にお過ごし下さい。

快適なLDKになりました↓



断熱の効果が上がれば冷暖房機器の燃費も抑えられて省エネですね！

～木育イベントレポート～

木下 陽子

8/5(土)の木育イベントに参加されたご家族の皆様、改めてありがとうございました。

夏の思い出の一コマになってもらえましたでしょうか。弊社は木育イベントを通して、子どもたちに、木に親しみを感じていただけたらと思っています。また次回も楽しい企画をしますのでお楽しみに♪

そして、次は出張イベントとして10/21.22(土.日)にサンドームで開催される「フクモクフェス」に参加します！木の遊び場で、親しみ触れ合いましょう！



参加者
voice

木に親しみを感じる事ができました！

越前市 Aさま

子どもも非常に楽しんでいたので、よかったです！
作って、遊べて、流しそうめんもしていただいて、
良い夏の思い出になりました。また参加したいです。



もうすぐ新しいモデルハウスが完成です！
ご来場お待ちしております！

社長 内田 壮一



今年もサンマは不漁だとか？
海の環境も変わってしまったのでしょうか。

専務 山田 満志



東向きのキッチンの我が家。
この夏は朝から暑さとの戦いでした。
窓の性能 UP 大事ですね。

設計 林 洋子



毎年暑くなっています。
体温調整が大事です！

部長 久保 辰雄



猛暑！
まだまだ続きそう🌸

主任 内田 裕之



「暑いですね～」が、合言葉のような、
8月でしたね。皆さまお元気でしたか？
私は何とか乗り切れました！

経理 内田 美紀



まだまだ残暑が厳しいですが、
体調崩さず乗り切りましょう～！

宇野 七海



youtube の short 動画で“女性社員の
現場レポート”公開してます！
是非ご覧ください！

広報 木下 陽子

新入社員ななみが、疑問に思った事を徹底調査！！



宇野七海

『内装工事』編

「住まいづくりのスケジュール」に沿って、スタートから完成・お引渡しまでの流れを紐解いていきます。

今回は内装工事。市橋内装さんへインタビューしてきました。

内装工事ってどんな仕事ですか？

木だて家さんの家づくりですと、通常は石膏ボードにパテをした上にクロス(越前和紙)を貼ります。壁紙の施工手順としては、①下地のチェック・養生②下塗りパテ処理③上塗りパテ処理④寸法取り⑤割り付け⑥糊付け⑦貼り付け⑧ジョイント処理の順番で行われます。今回木だて家さんのモデルハウスの壁は漆喰塗りですので、漆喰の材料を塗る前に、ドイツ製の塗装用紙下地「コバウ」を貼っています。石膏ボードの上にパテ処理をして、乾燥させて、ペーパーをかけて表面の凸凹をなくします。そして「コバウ」という白い紙を貼って、塗装屋さんが最後に漆喰を塗ります。

使用道具はどんな物ですか？ 糊付け機械のタンクには糊が入っていて、寸法を設定すると糊がでできます。



パテ処理とはなんですか？

パテ処理とは、壁紙の下地をつくっている石膏ボードと石膏ボードの継ぎ目部分にあたる溝や、段差をパテと呼ばれる下地調整剤で、埋めていく作業の事です。下塗りパテと上塗りパテがあり、表面がフラットになるまで丁寧に回数を重ねていきます。

作業で気を付けている事はありますか？

クロス施工の仕上がり評価は、パテ処理で決まるといっても過言ではありません。より丁寧に確実にいきます。凹凸がなくなるまで下地調整をしていきます。

※インスタで「女性社員の現場レポート」を紹介中です！今回のインタビューは8/22に投稿した「越前市 花筐のいえ」で写真を投稿してます。よろしければご覧ください。

お知らせ

9/23.24(祝、日)
「坂井市 春江のひらや」の
完成内覧会です！
ご来場お待ちしております！



編集後記

暑い。子育ての夏は、過酷。赤ちゃんは抱っこが暑いし、幼児期はどこに遊ばせにいかうか悩むし。子どもを育てて思ったこと。暑いことも、学ぶんだ。暑い時どうすればよいかも教えるんだ・・・って事でした。子どもと一緒に学んで学ぶ。プレゼンテーション大事です。いかに魅力的に感じてもらうかです。

